



すべての疑問点を洗い出し！ 統合校の位置について議論は大詰め

4月24日（木）午後6時30分から海上公民館において、（仮称）海上地域小学校 第4回学校再編代表者会議を開催しました。

初めに、年度の切り替えによる佐藤委員の辞任に伴い、新たに嚶鳴小 加藤由美子校長に委嘱書を交付し、委員として任命しました。

今回の会議では、前回に引き続き「統合校の位置」を議題とし、統合校の位置を嚶鳴小学校または旧海上中学校跡地にすることについて協議しました。初めに事務局より、前回会議での委員からの意見を踏まえて「学校施設の更新にかかる財政シミュレーション」、「嚶鳴小の駐車場について」、「（仮称）東統合中学校について」、「採決について」を説明しました。

その後、質疑応答や意見交換を行いました。今回も結論は出さずに継続審議となりました。

統合校の位置に関する疑問点や不明点は大方洗い出しされてきましたので、別日に嚶鳴小の現地視察を実施し、次回以降、結論に向けて話を詰めていくことになります。

嚶鳴小の駐車場について

【前回の委員意見に対する市の見解】

嚶鳴小は駐車場が狭い。雨の日やイベント時などに足りない。



⇒市としては、鶴巻小と滝郷小の児童は基本的にはスクールバスの活用を想定。自家用車での送迎を前提として、その分の駐車場を確保することは難しい。嚶鳴小においては、プールを解体して駐車場を増設するなどの整備をした上で、状況に応じた運用を検討していく。

【今回の委員意見】

- ・嚶鳴小は駐車場が狭いというよりは、使い勝手が悪いだけだと思う。鶴巻小と滝郷小を先に統合して、3校統合に向けて嚶鳴小をより良い形に模索していくほうがより理想的な統合になると思う。
- ・小学校施設整備指針では「安全な通学経路を確保すること」が重要と書かれており、駐車場の確保を理由に場所を決めてしまっては優先順位が違うと思う。

学校施設の更新にかかる財政シミュレーション

2060年までにかかる想定費用※をパターン別に算出しました。 ※現時点で考え得る概算費用です

① 嚶鳴小学校を活用して3校統合



総額：51億円

【主な内訳】

2030年 統合改修等 15億円
2056年 普通教室棟改築 29.6億円

3校統合小学校

② 旧海上中跡地に新設して3校統合



総額：72.3億円

【主な内訳】

2030年 新築・外構整備等 56億円
2050年 教室棟大規模改造工事 13億円

3校統合小学校

③ 2校先行統合

(鶴巻小・滝郷小の2校で統合し、2050年に嚶鳴小に再統合する場合)

総額：57.1億円



13.1億円

【内訳】

2030年 統合改修等 9.9億円
2033年 体育館長寿命化工事 3.2億円

2校統合小学校
(鶴巻小を活用)



44億円

【主な内訳】

2036年 教室棟大規模改造工事 7.7億円
2050年 普通教室棟(統合・改築) 23.6億円

嚶鳴小学校

※学校の建物は定期的な改修や長寿命化工事により80年間使用する長寿命化型へシフトすることで、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。そのため、およそ20年ごとに大きく工事費が掛かります。

嚶鳴小 or 旧海上中跡地

統合校の位置 採決について

Q A



Q どうやって場所を決めるの？

嚶鳴小と旧海上中跡地のそれぞれの場所に対して賛否を取ります。

A 会議に出席している委員の3分の2以上の賛成を得られた場所が、統合校の位置に対する代表者会議の結論になります。

Q どちらも3分の2以上の賛成が得られなかった場合はどうするの？

A 嚶鳴小または旧海上中跡地のどちらも反対とすることが代表者会議の結論になります。その場合、別の方向性を検討することになります。

